

前橋市議会議員

絆

主役は市民!

細野勝昭

活動報告



2018年(平成30年)新年号/発行:ほその会 前橋市文京町1-45-3

<第7次総合計画 基本構想の全体イメージ図>

計画期間:平成30年度~39年度の10年間

政策方針



10年後の人口目標(平成39年度)318,000人

ビジョン

めぶく。

~良いものが育つまち(Where good things grow.)~

迎春

新年あけまして

おめでとーございませす

お元気で爽やかに

新春をお迎えのことと

拝察致します

昨年2月の市議会議員選挙におきまして、皆様のご支援をいただき、7期目の当選を果たすことができました。ご支援をくださった皆様へ心から感謝とお礼を申し上げます。これからも市政全般、更に、「対話」を通して地域の声を市政に反映していきま

す。平成29年度第4回定例市議会では、第6次総合計画の進捗状況を踏まえ、更に地域が一体となった、まちづくりの考え方や政策体系が複雑であること、地域づくりのための資源(ヒト・モノ・カネ)が限られている中、効果的な取り組みが求められているなどの背景から、新しい第7次総合計画が策定・審議・議決され、新たな10年に向けた計画がスタートしま

す。今後、審議内容等については逐次報告していきます。

国の2018年度当初予算が閣議決定され、その内容は高齢化で社会保障費が膨らみ、6年連続で過去最大、また、歳入全体の34.5%を国債で賄うという厳しい内容であります。

本市の財政も厳しい状況にありますことから、第7次総合計画の「新しい価値の創造都市前橋」実現のため、コスト意識と費用対効果の検証により、効果的かつ効率的な財政運営が強く求められます。

私も7期25年の経験と「主役は市民」との信念に基づき、誠実・努力・行動力を持って果敢に挑戦し、住みよいまちづくりに取り組んでいきます。

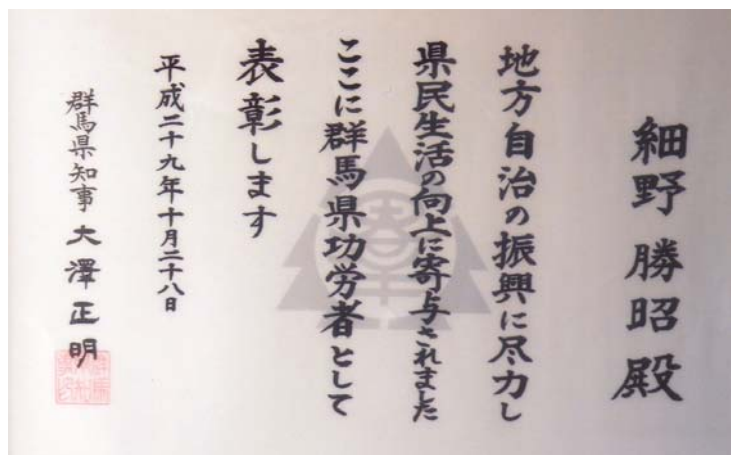
今後とも一層のご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様にとりましても幸多い年でありますよう心からご祈念申し上げます、新年のご挨拶と致します。

「今年一年がんばるぞ」

細野勝昭 拝



県功労者表彰を受賞



地方自治や福祉・文化など功績のあった方に贈られる「平成29年度県功労者表彰式」が昨年11月6日に群馬会館で行われ、大沢群馬県知事から表彰状をいただきました。

この度の受賞は多くの皆様のご支援のお陰であり、これからも一層努力して参る所存であります。

県功労者表彰制度は、昭和30年に始まり、これまでに1853人が受賞されており、前橋市議会11人目の受賞となります。

第4回(12月)定例会
総括質問(抜粋)

*中心商店街の活性化策について

・総合計画の事業推進にあたって「官民連携・民間活力の導入」という施策の展開が多く見られ、結果として「効率的な施設運用と市費の縮減が図られる」という利点を強調されますが、マイナスイメージの問題点ほどのようなことが考えられるのか伺います。

*30年度の予算編成姿勢について

・前橋ケヤキ並木ライトアップ事業の市民の評価、さらに事業は2年で終わりましたが、事業にかかった費用など「費用対効果」という視点から伺います。
・まちなかサロンの利用状況について、利用頻度・利用状況からサマーレビューの対象事業となりうると思えますが、考え方に ついて、また、同じ費用を掛けるのであれば、街づくりに協力されている学生・各種団体の活動拠点として場所の確保に予算を付けるべきと考えますが見解を伺います。

*産業政策について

・企業誘致は地域も大事であるが、県や産業界との太いパイプに加え、名譽市民でもある日本商工会議所会頭である「三村氏」との連携など、交渉力によるところが大きいと言われるだけに、特段の仕掛けが必要と思うが、取り組み姿勢について伺います。



総括質問に立つ細野議員

*道路管理(安全確保)について

・安全確保策としてカーブミラーの設置要望は多くあります。最近住宅街にも宅配便を含めコンテナ型の天井の高い車両が多く見受けられます。カーブミラーの素材は「ガラス材」から「ステンレス材」に変わり、車と接触しても破損はしなくなったが、一方、凹凸や傷によって車両や歩行者の確認に「ゆがみ」が生じており識別しづらいという苦情を多く聴きます。そこでカーブミラーの取り付け位置(高さ)をコンテナ型の車両に対応できるように、ミラーの取り付け位置について全市的に早急に見直す必要があると思えますが見解を伺います。



同居犬のベル君

第4回(12月)定例会
委員会 質問(抜粋)

*教育環境について

・複雑多岐に亘る子供たちを取り巻く環境や数多く発生している諸問題について、不登校・いじめ、さらに情報モラル・SNSや特別な教育支援を必要とする児童生徒の増加などに対する課題などについてそれぞれ所管課としてどのような解決策を講じていかれるのか伺います。

・家庭、地域、学校の連携強化を通じた地域活動の中で、今後、極めて重要と思われる子供たちの居場所づくりや人間関係の構築が強く求められている。特に最近の傾向として、家庭や地域において子供の社会性が育まれていた場や機会の減少、最近特に問題となっている家庭の経済的背景による学習機会の格差など、それぞれの事例に基づく詳細な分析による解決策について、それぞれ所管課としての対処法について伺います。

*子育て支援について

・「子育て世代包括支援センター」を設置、更に「母子保健コーディネーター」や「保育コンシェルジュ」も配置し、利用者支援の充実と妊娠・出産・育児における切れ目のない包括的な子育て支援を進めてきているが、平成28年度のセンター対応件数は670件とのことですが、29年度の対応件数と対応した案件からどのようなことが見えてくるのか、更に新たな支援につながるようなものはあるのか伺います。

・子育てと仕事の両立支援について、3歳未満児の保育ニーズへの対応、児童の放課後の過ごし方に対する対応、更に地域で子供を見守り育てる体制整備など、今後どのような体制を構築されるのか、これからの諸施策を総合的に整備することが、解決の一步となると思うが見解を伺います。

*高齢者対策について

・第7次総合計画にあたって子育て・介護等のいずれの政策も財源に裏打ちされたものでないとサービスの提供は出来ない。国の方向として財源不足を背景にして、負担を増やすか、給付を減らすかの選択を迫っている現状にある。改めて財源確保策による税金の無駄をなくして市民サービスの維持向上を図ることが喫緊の課題と考えますが福祉部長の考え方を伺います。

(要望事項)

・最近政策に対する意見聴取としてパブリックコメントやアンケート等が実施されているが、政策等に対する市民周知が十分でないことと市民の考え方や思いを吸い上げることはできないので、広報活動全般に亘って一考を講じていただくよう要望しておきます。

○地域の課題について

・街区公園(文京町四丁目)の早期整備と遊具・休憩施設の整備

市政に関するご意見・ご要望がありましたらご連絡ください



自宅事務所
〒371-0801
前橋市文京町1-45-3
TEL: 027-221-2208
FAX: 027-221-2279
携帯: 090-3314-6881

議会事務局 〒371-0026
前橋市大手町2-12-1
TEL: 027-224-1111
所属 会派: 市民フォーラム
所属委員会: 教育福祉常任委員会・委員